

栗原地域の概要



栗駒山



伊豆沼・内沼



くりはら田園鉄道公園

令和6年3月

北部地方振興事務所栗原地域事務所

目 次

1	地域の概要	1
2	人 口	3
3	産業概要	5
4	農 業	8
5	畜 産	10
6	農業農村整備	12
7	林 業	14
8	商工業	16
9	観 光	19

注意：各項目の数値・割合は、単位未満を四捨五入するなどの処理を行っているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

1 地域の概要

(1) 概況

栗原地域は、平成17年4月に旧栗原郡の9町1村（築館町・若柳町・栗駒町・高清水町・一迫町・瀬峰町・鶯沢町・金成町・志波姫町・花山村）が広域合併して誕生した「栗原市」をその区域としています。宮城県の北西部に位置し、東西に長い地域となっており、東は登米市、南は大崎市、西は秋田県、北は岩手県に接しています。

栗原市の面積は804.97 km²で、県全体の11%を占め、県内の市町村の中で最も広がっています。

また、人口はおよそ6万1千人で、県全体の約3%を占めています。

県内市町村の面積
(単位: km²)

順位	面積
1	栗原市 804.97
2	大崎市 796.81
3	仙台市 786.35
4	石巻市 554.55
5	登米市 536.12
県全体 7,282.29	

資料：土地利用の現況と施策の概要（令和4年4月1日現在）

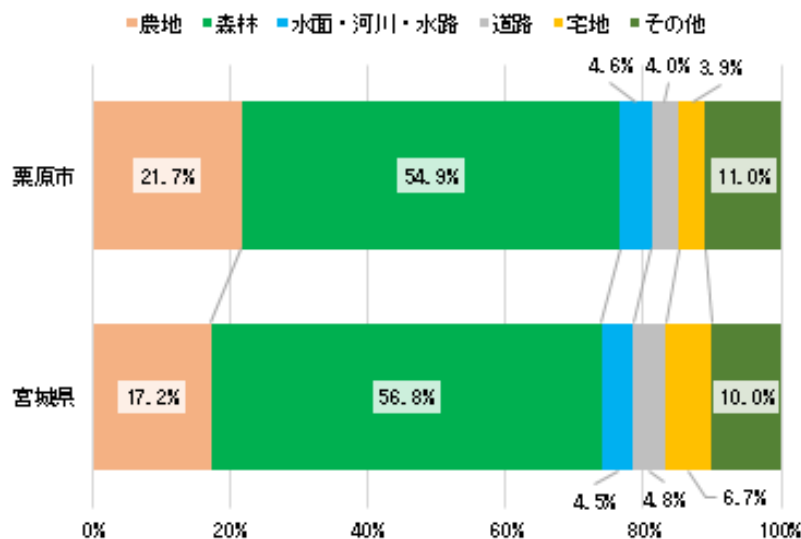


(2) 地勢・土地利用状況

広大かつ豊かな自然環境を有しており、西部にそびえる栗駒山を中心とする栗駒国定公園は、栗駒山頂付近や県内最大の高層湿原である世界谷地等が特別保護地区に指定されており、また、ガンやハクチョウの飛来地として名高い伊豆沼・内沼は、ラムサール条約登録湿地及び国設鳥獣保護区となっています。さらに、^{みたけやま}御嶽山、^{いっぴつやま}一桧山・田代、伊豆沼・内沼は、県自然環境保全地域に指定されています。

また、栗駒山が属する奥羽山脈が西部を縦走しており、その支脈は丘陵地帯を形成し南東に張り出し、伊豆沼・内沼に至っています。この丘陵地帯の間を流れる迫川・二迫川・三迫川の流域や伊豆沼・内沼の周辺に広がる耕土は、本県の主要な穀倉地帯となっており、土地利用は、農地が森林に次いで多く、県全体と比較しても農地の割合が5ポイント程度高い状況にあるなど、地勢の特長を活かし、古くから農業が盛んな地域です。

土地利用状況

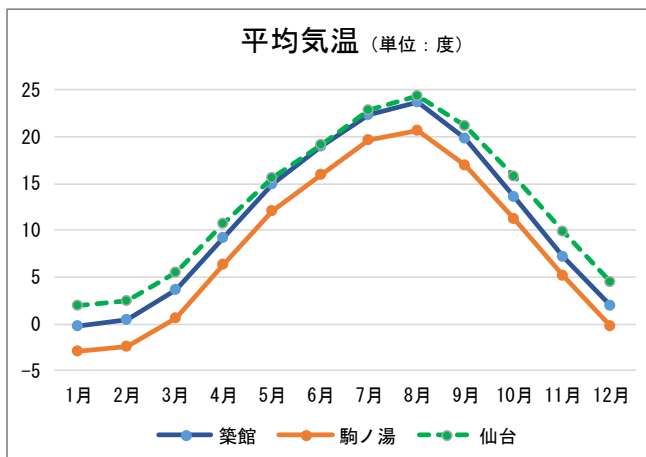
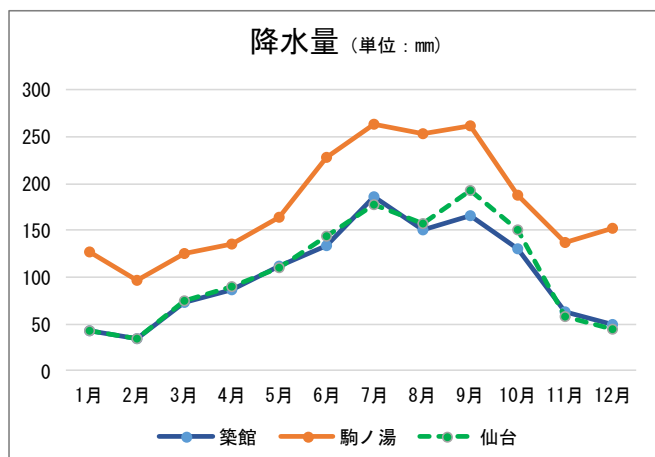


資料：土地利用の現況と施策の概要（令和4年4月1日現在）

(3) 気候

東の平野部（築館）は、年間平均気温が 11.3 度、降水量が約 1,230mm であり、ともに仙台市とほぼ同程度（年間平均気温 12.8 度、降水量約 1,277mm）となっていますが、西の山間部（駒ノ湯）は、平均気温はどの月も仙台市より 4 度程度低く、降水量も、夏季は仙台市の 1.5 倍、積雪が影響する冬季は 3 倍程度の差があります。

山間部（駒ノ湯）は、1・2 月は累計で 2m を超える降雪があり、残雪は初夏ごろまで見られます。



	(単位: cm)					
	1月	2月	3月	4月	11月	12月
降雪の深さ合計 (駒ノ湯)	268	207	169	37	36	208

資料：気象庁「過去の気象データ」（1991～2020 年平均）

(4) 交通

高速交通網は、JR 東北新幹線（くりこま高原駅）、東北自動車道（築館及び若柳金成インターチェンジ）、みやぎ県北高速幹線道路（国道 4 号築館バイパス付近の起点及び築館東、若柳南並びに伊豆沼インターチェンジ）があり、東北自動車道を利用した高速バスも、仙台市との間に 3 路線が運行されています。また、これらと並行して JR 東北本線（瀬峰駅、有壁駅）があります。

地域内には国道 4 号、398 号、457 号を中心として、県道、市道、広域農道などが縦横に走り自動車交通を支えています。

地域内の交通は、栗原市と市外を結ぶ広域路線（路線バス）、市内各地区と鉄道・バスの乗継場所等を連携する市内連携路線（同）及び花山地区内を運行する地域内路線（乗合デマンド交通）が運行されており、買い物や通学、通院など市民の足となっています。

2 人口

- 栗原地域の人口は、自然減及び社会減*が続いていることにより、10年間で約1万人減少しており、人口減少が加速しています。また、世帯数は横ばい傾向にあるものの、人口及び世帯数は、県内7広域圏の中で最も少なくなっています。
- 15歳未満の人口構成率は15年で2.2ポイント減少、一方65歳以上の人口は約9.8ポイント増加し、少子高齢化が進み、また高齢化率は県内の7広域圏の中で最も高くなっています。

※自然減…生まれる方より亡くなる方が多い、社会減…転入より転出が多い

(1) 人口・世帯数推移

人口 (単位：人)

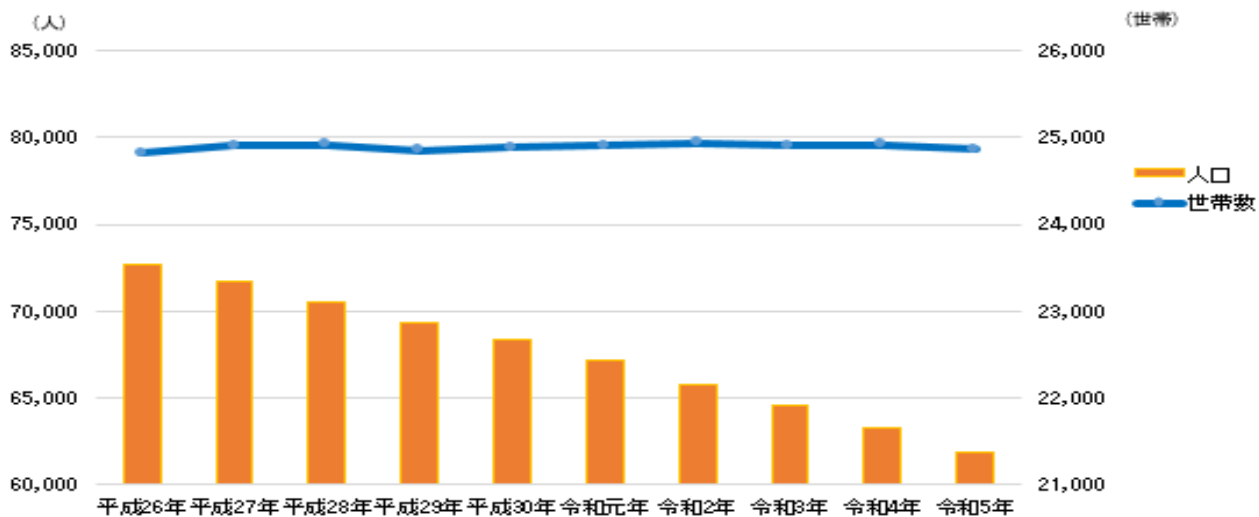
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
栗原市	72,721	71,748	70,530	69,382	68,328	67,117	65,811	64,621	63,299	61,910
宮城県	2,328,133	2,324,469	2,319,438	2,312,085	2,303,098	2,292,386	2,282,107	2,268,356	2,257,480	2,242,394
構成比	3.1%	3.1%	3.0%	3.0%	3.0%	2.9%	2.9%	2.8%	2.8%	2.8%

資料：住民基本台帳人口及び世帯数（月報）（各年12月末現在）

世帯数 (単位：世帯)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
栗原市	24,823	24,904	24,918	24,855	24,881	24,905	24,939	24,903	24,914	24,859
宮城県	961,382	971,643	980,849	989,300	997,384	1,006,676	1,016,613	1,023,972	1,035,950	1,044,641
構成比	2.6%	2.6%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.4%	2.4%	2.4%

資料：住民基本台帳人口及び世帯数（月報）（各年12月末現在）



(参考) 旧町村別人口推移

	旧築館町	旧若柳町	旧栗駒町	旧高清水町	旧一迫町	旧瀬峰町	旧鶯沢町	旧金成町	旧志波姫町	旧花山村	計
平成12年	16,422	15,145	15,010	4,702	9,969	5,738	3,445	8,750	7,639	1,732	88,552
平成17年	15,271	13,863	13,135	4,192	8,800	5,300	2,973	7,927	7,317	1,470	80,248
平成22年	14,541	13,047	12,123	3,976	8,035	4,884	2,719	7,371	6,980	1,256	74,932
平成27年	14,044	12,266	10,954	3,648	7,375	4,478	2,436	6,883	6,751	1,071	69,906
令和2年	13,180	11,434	9,859	3,484	6,736	4,145	2,079	6,284	6,536	900	64,637
構成比 (令和2年)	20.4%	17.7%	15.3%	5.4%	10.4%	6.4%	3.2%	9.7%	10.1%	1.4%	100.0%

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

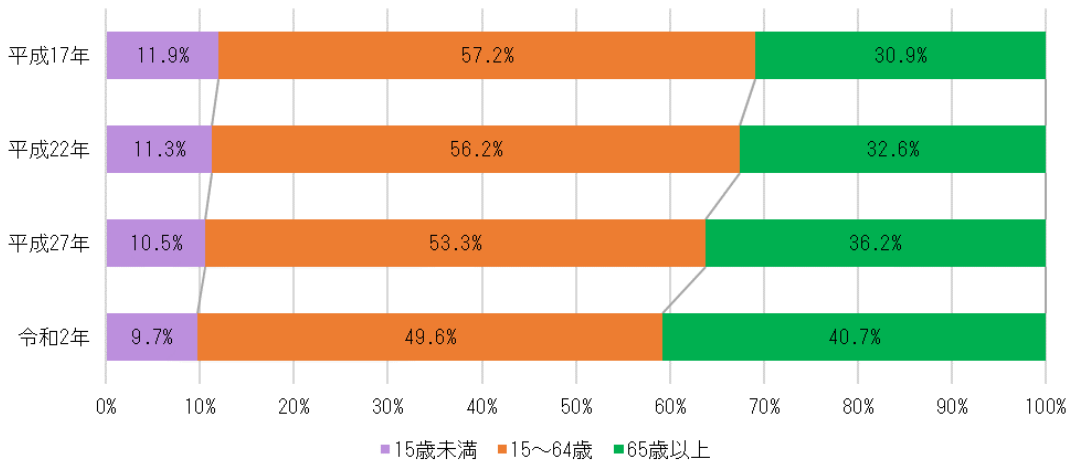
(2) 自然増減・社会増減推移

(単位：人)

	自然増減数			社会増減数		
	出生者数	死亡者数	増減	転入者数	転出者数	増減
令和元年	310	1,240	▲ 930	1,249	1,530	▲ 281
令和2年	268	1,210	▲ 942	1,244	1,608	▲ 364
令和3年	255	1,176	▲ 921	1,211	1,480	▲ 269
令和4年	196	1,320	▲ 1,124	1,225	1,423	▲ 198
令和5年	206	1,343	▲ 1,137	1,166	1,518	▲ 352

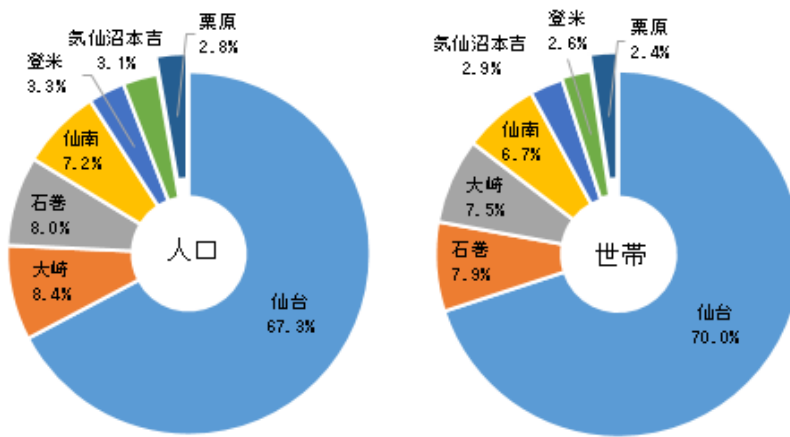
資料：住民基本台帳人口及び世帯数（月報）（各年12月末現在）

(3) 年齢別人口構成推移



資料：国勢調査
(各年10月1日現在
/不詳を除く)

(4) 広域圏別人口・世帯比較



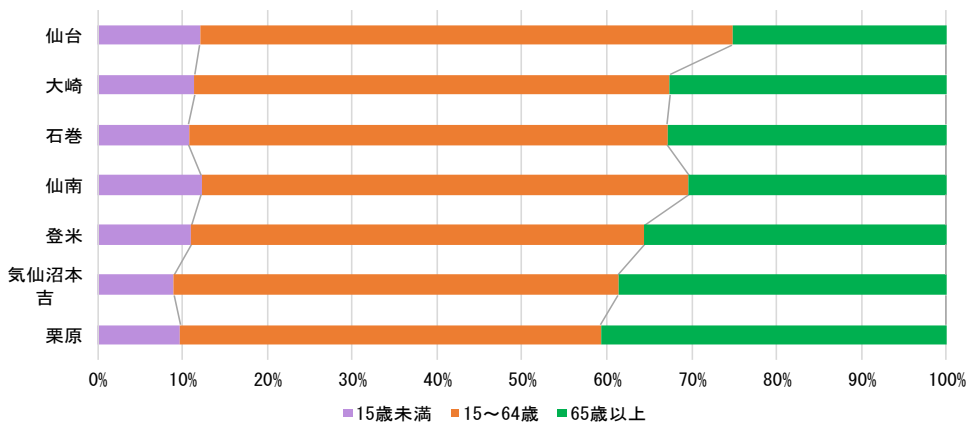
資料：住民基本台帳人口及び
世帯数
(令和5年12月末現在)

(5) 広域圏別年齢別人口構成

(単位：人)

圏域名	15歳未満		15~64歳		65歳以上		計
	人口	割合	人口	割合	人口	割合	
仙台	180,368	12.0%	941,851	62.7%	378,781	25.2%	1,501,000
大崎	22,241	11.4%	109,418	56.0%	63,694	32.6%	195,353
石巻	19,962	10.8%	104,753	56.4%	60,964	32.8%	185,679
仙南	25,192	12.2%	118,202	57.4%	62,524	30.4%	205,918
登米	8,348	11.0%	40,666	53.5%	27,023	35.5%	76,037
気仙沼本吉	6,555	8.9%	38,494	52.5%	28,323	38.6%	73,372
栗原	6,265	9.7%	32,041	49.6%	26,331	40.7%	64,637

資料：国勢調査(令和2年10月1日現在、不詳を除く)



資料：国勢調査(令和2年10月
1日現在、不詳を除く)

3 産業概要

- 就業者数については、人口減少に伴い減少傾向にあります。有効求人倍率は、人口減少や相次ぐ企業進出等により労働力の需給がアンバランスとなり、平成28年度以降、県平均よりもかなり高めに推移しています。なお、令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、右肩下りの傾向にあったものの、令和3年度は製造業を中心に求人が戻り、2.02と再び高くなりましたが、令和6年1月は県平均より若干高い1.60となっています。
- 新規高卒者の就職内定率は例年ほぼ100%となり、就職の希望はおおむね叶えられている状況にあると言えます。なお、産業別就業者数は、第1次・第2次産業^{*}の割合が県全体と比べて高く、特に第1次産業は14.8%と県全体の3.7倍となっています。
- 総生産額はここ数年横ばいですが、製造業が占める割合が年々大きくなっています。一方で、圏域別の割合は最も低くなっています。産業別では、地域の特徴を活かし、県全体と比較して第1次・第2次産業の割合が高く、第1次産業では、農業は稲作、林業はきのこ類などの特用林産物の生産が盛んであり、第2次産業でも食料品の製造が多いなど、「食」関連産業が中心となっています。

^{*}第1次…農林水産業，第2次…鉱業，製造業，電気・ガス・水道業，建設業，第3次…その他の産業

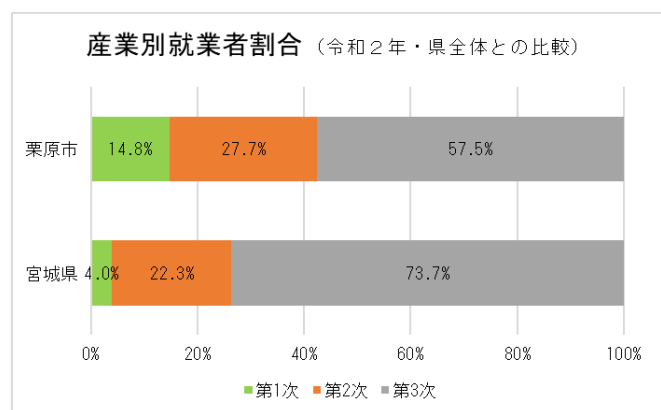
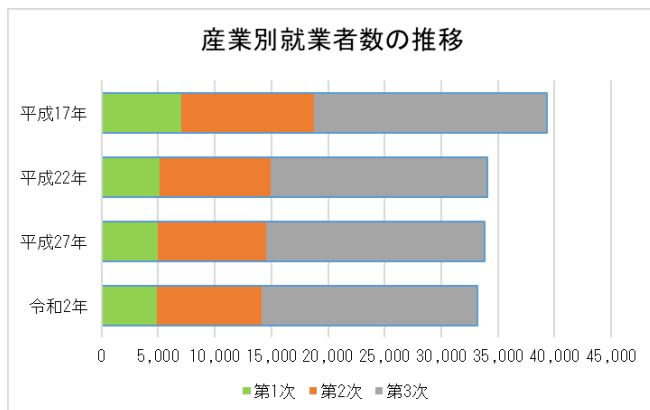
■ 就業者

(1) 産業別就業者数の推移及び構成割合

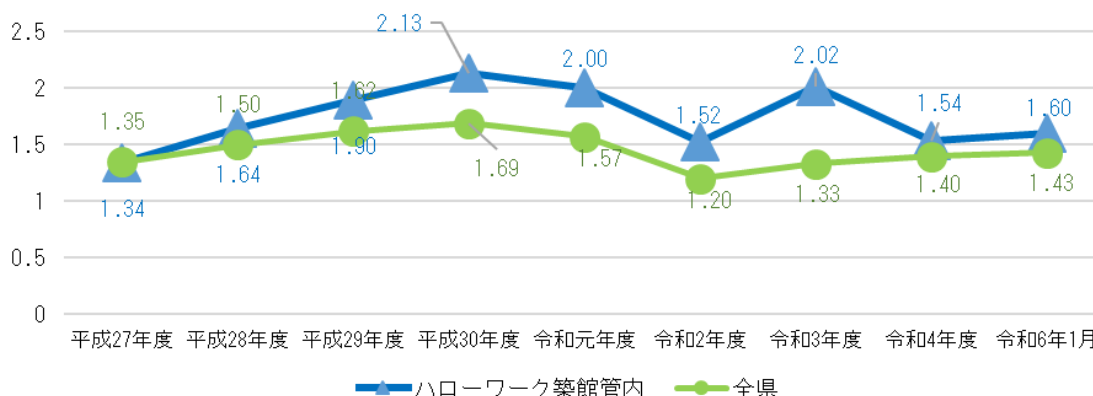
(単位：人)

	総数	内訳		
		第1次	第2次	第3次
平成17年	39,323	7,017	11,744	20,562
平成22年	34,090	5,170	9,740	19,180
平成27年	33,858	5,015	9,499	19,344
令和2年	33,219	4,925	9,214	19,080

資料：国勢調査（各年10月1日現在） ※分類不能を除く

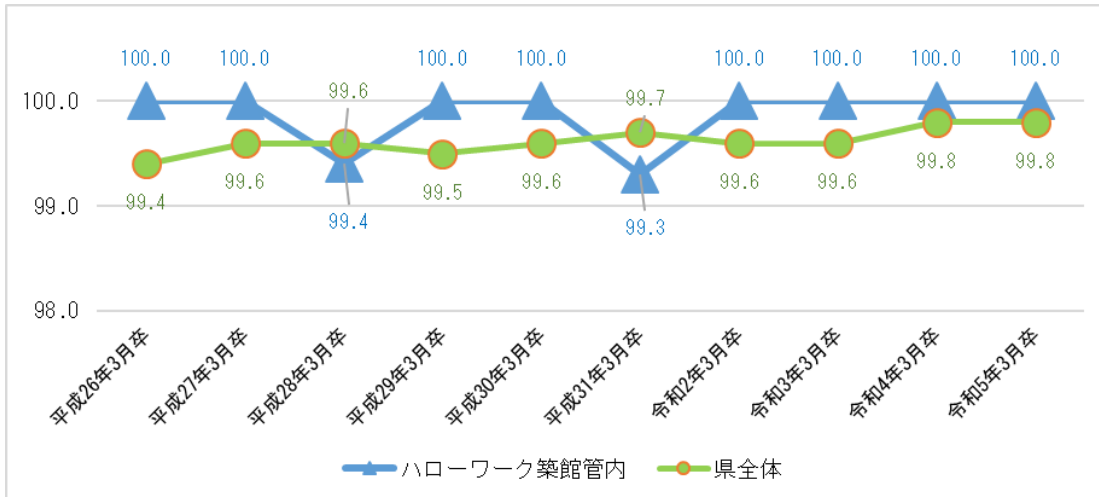


(2) 有効求人倍率の推移



資料：宮城県の一般職業紹介状況（宮城労働局）

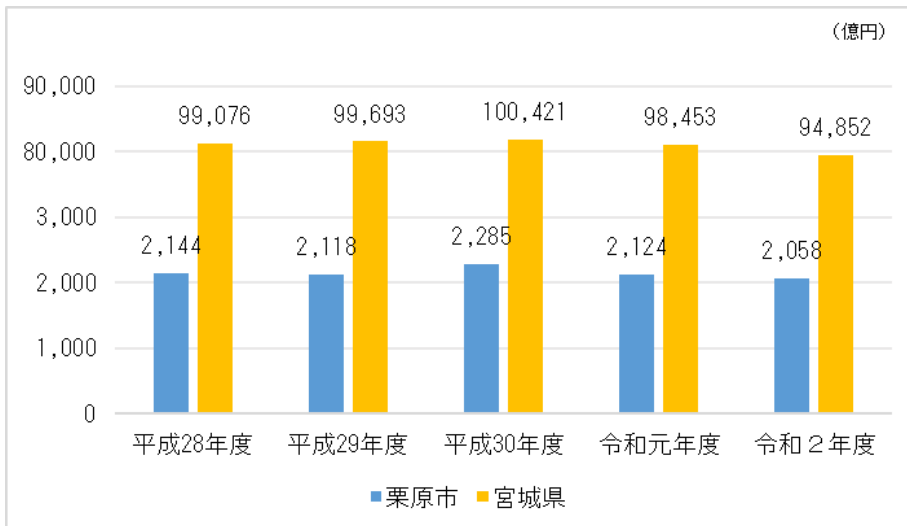
(3) 新規高卒者就職内定率の推移



資料：
新規高卒者の求人・
求職・就職（内定）
の状況
（宮城労働局）

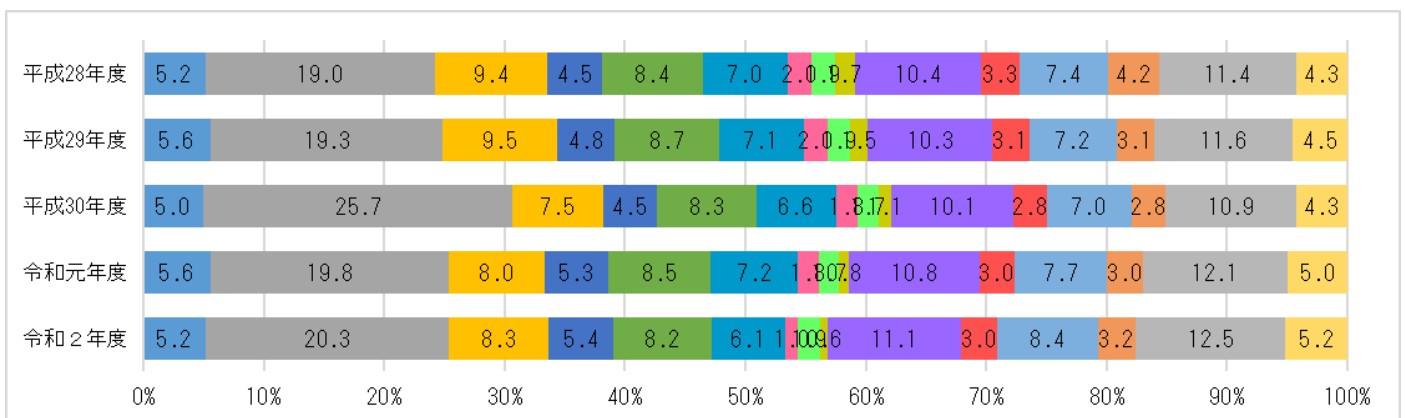
■ 生産額

(1) 総生産額の推移



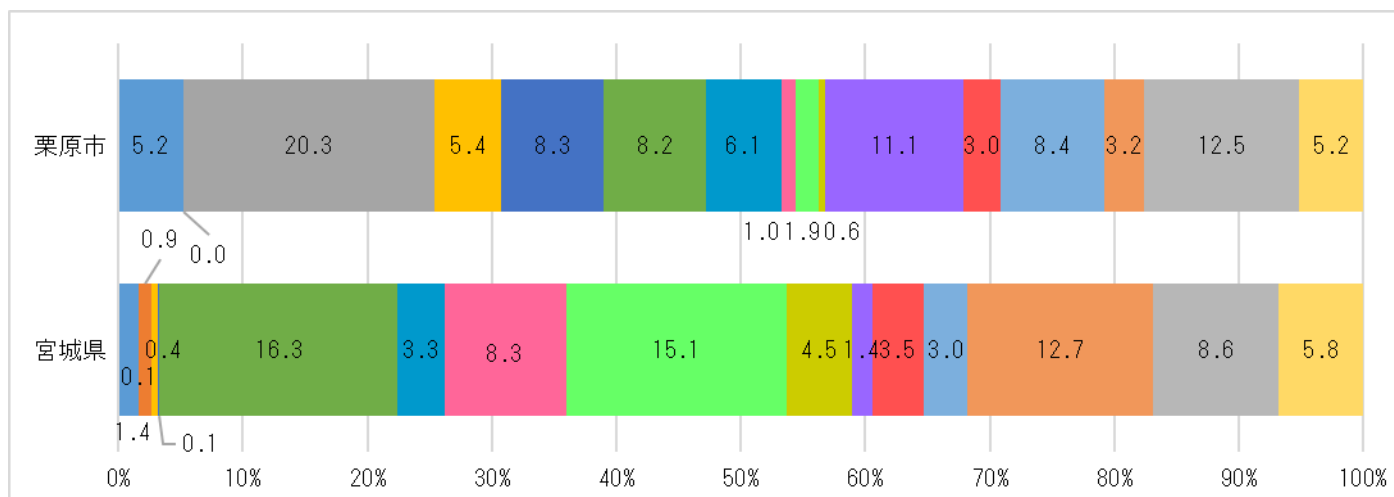
資料：宮城県市町村民経済計算
（以下同）

(2) 総生産額に係る経済活動別構成比の推移



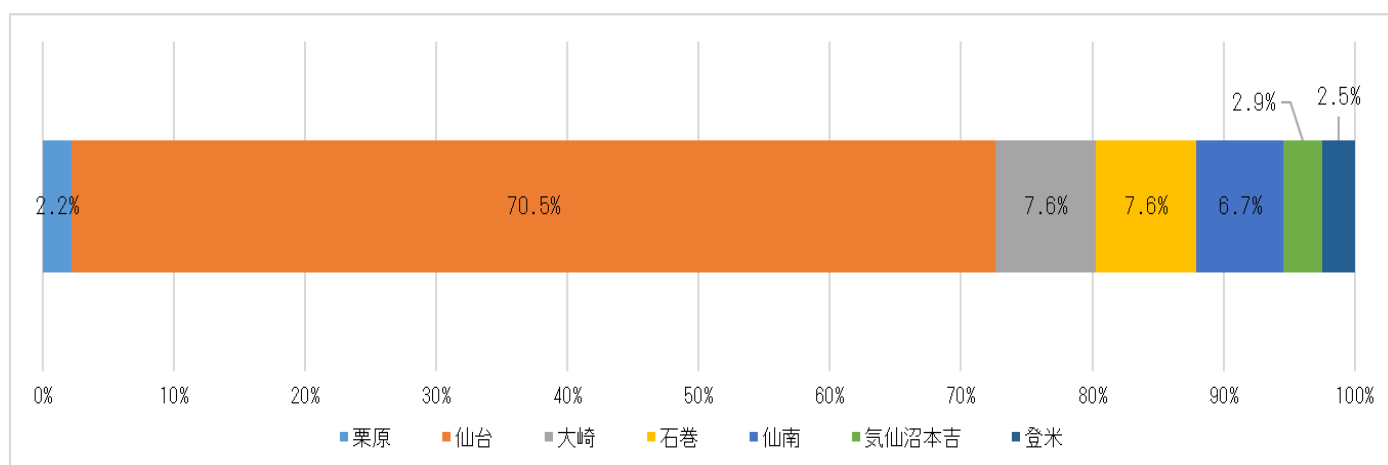
- 第1次産業 ■ 農林水産業
- 第2次産業 ■ 鉱業 ■ 製造業 ■ 建設業
- 第3次産業 ■ 電気・ガス・水道・廃棄物処理業 ■ 卸売・小売業 ■ 運輸・郵便業 ■ 宿泊・飲食サービス業
- 情報通信業 ■ 金融・保険業 ■ 不動産業 ■ 専門・科学技術、業務支援サービス業
- 公務 ■ 教育 ■ 保健衛生・社会事業 ■ その他のサービス

(3) 経済活動別構成比に係る県全体との比較（令和2年度）

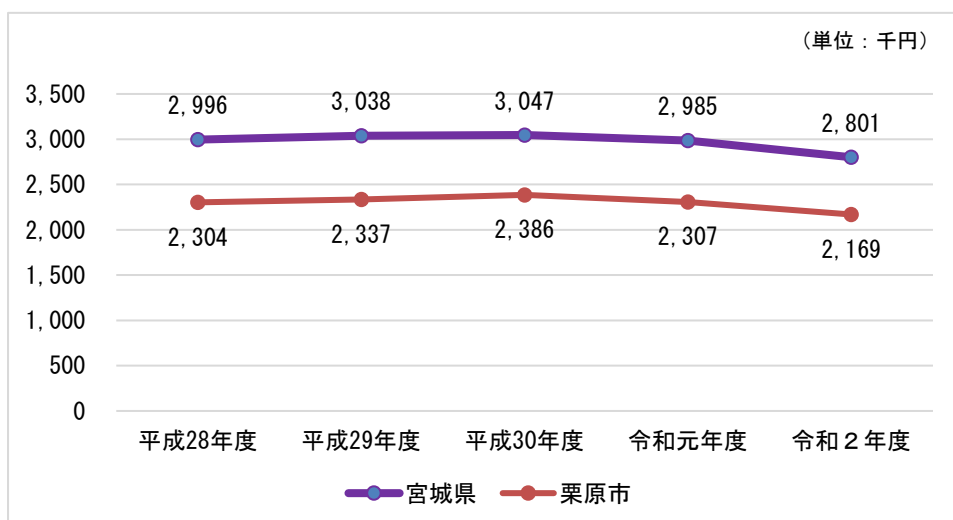


(色の対応は(2)と同じ)

(4) 市町村内総生産の圏域別比較比較（令和2年度）



(参考) 1人当たりの市民・県民所得の推移



4 農業

- 総農家数は、令和2年は5,498戸で、平成22年の8,267戸から10年間で約33%減少しました。
- 県内における栗原地域の状況を見ると、農家数等の市町村別順位では、総農家数、販売農家数及び農業就業人口で県内第2位となっています。
- 農業産出額は県内市町村中第3位で12%を占めており、部門別でも水稻が15%、畜産が13%を占めています。
- 令和3年の水稻の作付面積は9,650haで県全体の約15%を占め、大豆は817haで県全体の約7%となっています。
- 近年、生産が定着してきたズッキーニは、令和3年で7.6ha作付けされ、県内第1位の産地となっています。また、パプリカ栽培は、全国有数の生産規模となっています。
- 直売所等の件数は横ばい、アグリビジネス経営体数も横ばいで推移しています。

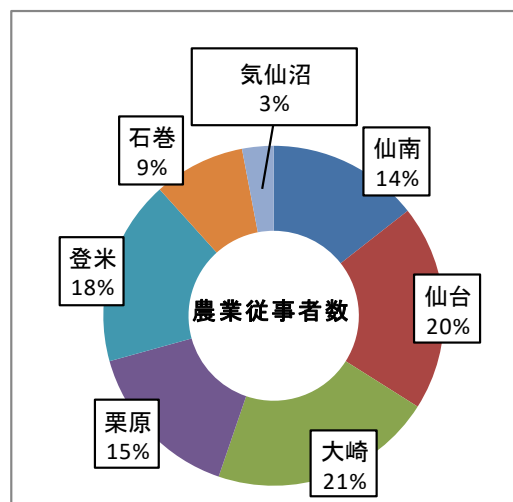
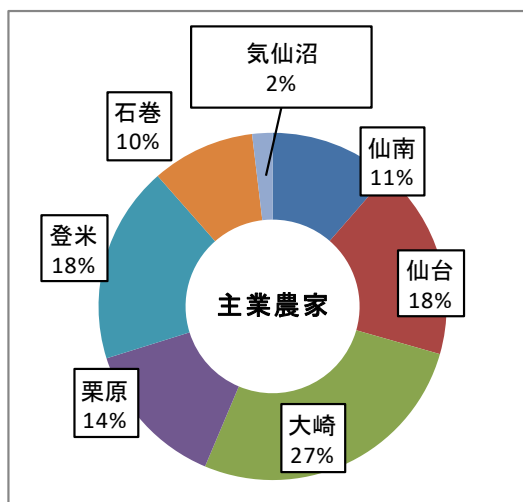
(1) 農家戸数等

(単位：戸、人、歳)

	総農家	自給的農家	販売農家				農業就業人口 (H27まで) 農業従事者数 (R2)	基幹的農業従事者の 平均年齢
			計	主業農家	準主業農家	副業的農家		
平成12年	10,476	1,327	9,149	1,500	3,737	3,912	62.6	
平成17年	9,519	1,368	8,151	1,294	3,040	3,817	64.3	
平成22年	8,267	1,418	6,849	1,085	2,939	2,825	66.4	
平成27年	6,670	1,324	5,346	929	1,678	2,739	68.1	
令和2年	5,498	1,181	4,317	719	879	2,719	69.1	
同上構成比	100.0%	21.5%	78.5%	13.1%	16.0%	49.5%		
令和2年 宮城県	41,509	12,877	28,714	5,204	5,100	18,410	75,069	
同上構成比	79.3%	24.6%	54.9%	9.9%	9.7%	35.2%		

資料：農林業センサス

自給的農家：経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家
 販売農家：経営耕作面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家
 主業農家：農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家
 準主業農家：農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家
 副業的農家：主業農家、準主業農家以外の農家
 農業就業人口：満15歳以上の農家世帯員のうちで、農業にだけ従事した者と農業以外に従事していても農業従事日数の方が多い者の合計
 農業従事者：15歳以上の世帯員のうち自営農業に従事した者
 基幹的農業従事者：農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）のうち、調査期日前1年間の普段の主な状態が「仕事に従事していた者」のこと

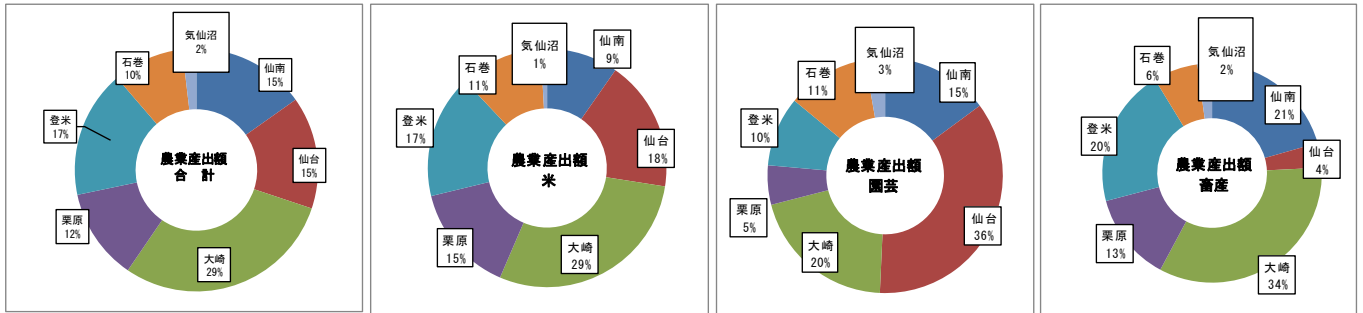


(2) 広域圏別農業産出額

(単位：千万円)

	合計	米	園芸	畜産
仙南	2,621	615	465	1,541
仙台	2,522	1,128	1,121	273
大崎	4,988	1,838	634	2,516
栗原	2,084	936	169	979
登米	2,890	1,063	300	1,527
石巻	1,553	709	352	492
気仙沼	301	54	86	161

資料：農林水産省 令和3年市町村別農業産出額（推計）



(3) 主要作物作付面積

(単位：ha)

	水稻		大豆		そば	パプリカ	ズッキーニ
	ha	kg/10a	ha	kg/10a			
平成29年	9,740	538	935	106	43	8.3	9.8
平成30年	9,820	545	915	127	36	7.6	7.9
令和元年	9,900	553	902	121	34	7.4	8.0
令和2年	9,870	544	854	134	32	8.4	8.0
令和3年	9,650	541	817	182	32	7.6	8.4
令和3年 宮城県	64,600	547	11,000	202	621	10.0	8.0
対県比	14.9%	-	7.4%	-	5.2%	-	-

資料：宮城の農作物統計・宮城農林水産統計年報

注：パプリカ、ズッキーニは、北部地方振興事務所栗原地域事務所「栗原地域推進実績」による。
注：パプリカ、ズッキーニの県計は、農林水産省「令和2年産地域特産野菜生産状況調査(隔年調査)」の数値。

(4) 農産物直売所、アグリビジネス経営体等の状況

① 農産物直売所等

(単位：件)

	直売 (固定店舗・ 対面販売)	農家レストラン	農家民宿	合計
平成28年	18	8	2	28
平成29年	19	9	2	30
平成30年	19	9	2	30
令和元年	18	9	2	29
令和2年	18	7	2	27
令和3年	18	7	2	27
令和4年	17	7	2	26

資料：宮城県調べ

② アグリビジネス経営体数

(単位：件)

	アグリビジネス 経営体数
平成28年	19
平成29年	19
平成30年	15
令和元年	14
令和2年	12
令和3年	13
令和4年	9

資料：宮城県農業法人等経営体調査

注：「アグリビジネス経営体」とは、年間販売金額1億円以上の経営体を指す。

5 畜産

- 畜産における生産環境の変化や担い手の高齢化、後継者不足で畜産農家戸数は減少傾向が続いていますが、栗原地域の肉用牛飼養戸数は585戸と県全体の23.0%を占めており、うち肉用子牛を生産する繁殖農家は550戸で、令和5年2月1日現在、4,452頭飼育されています。
- 栗原地域からみやぎ総合家畜市場へ上場される子牛頭数は2,741頭（令和4年実績・県全体の18.1%）であり、県内有数の肉用子牛の生産基地として位置付けられています。
- 栗原地域の肉用牛飼養頭数は県全体の11.2%ですが、家畜市場上場子牛の評価は高く、県平均価格を上回って推移しています。
- 養豚業及び養鶏業は、大規模化が進んでおり、豚の飼養頭数は県全体の20.8%（40,822頭）、家きん飼養羽数は県全体の14.1%（858,532羽）を占めています。

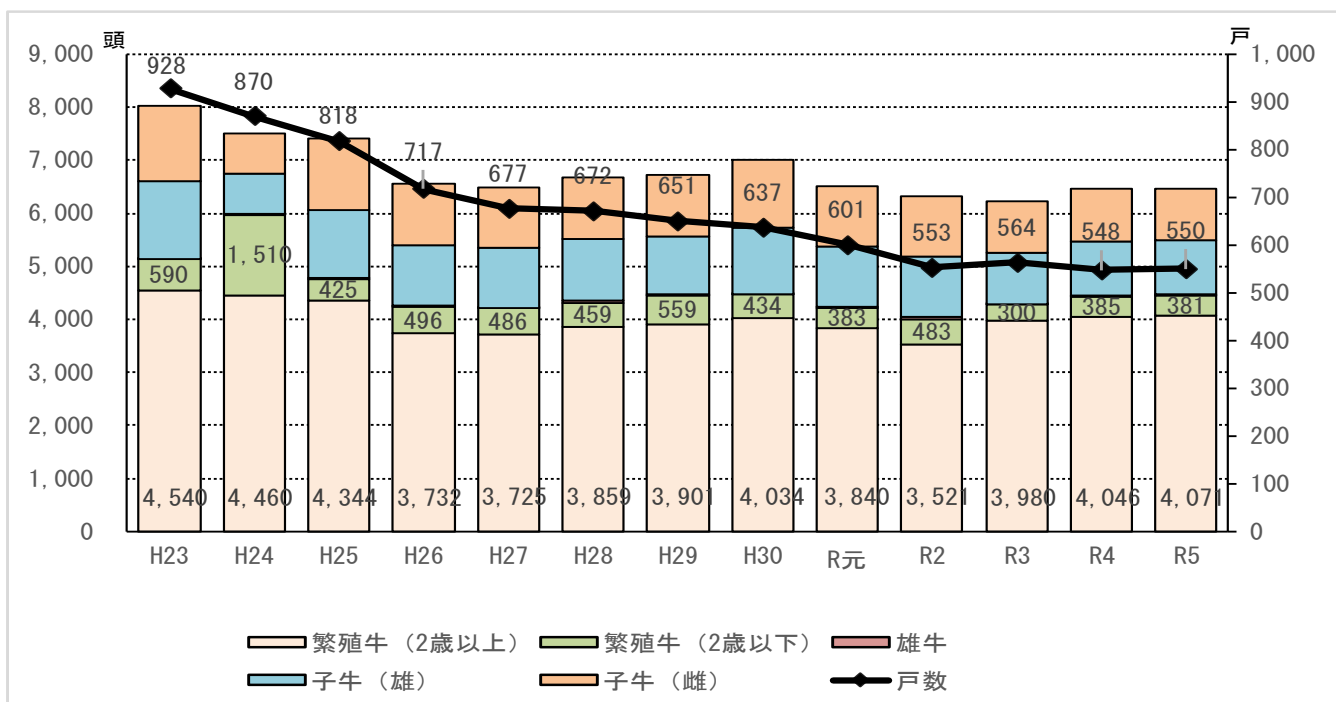
(1) 主要家畜飼養頭羽数

(単位：戸、頭・羽)

	乳用牛		肉用牛		豚		家きん類	
	飼養戸数	頭数	飼養戸数	頭数	飼養戸数	頭数	飼養戸数	羽数
H23	74	2,249	1,085	8,883	20	31,957	6	601,400
H24	65	2,129	977	10,266	18	28,627	9	541,100
H25	68	2,174	975	9,776	18	28,250	10	643,000
H26	59	1,867	825	10,291	17	27,568	10	607,700
H27	59	1,922	781	8,981	17	26,309	10	635,200
H28	56	1,944	725	10,377	19	44,191	10	628,300
H29	52	1,762	698	9,740	17	42,603	8	618,900
H30	49	1,714	675	9,857	18	39,061	9	631,000
R元	50	1,684	656	9,195	15	36,536	9	640,300
R2	45	1,562	640	9,027	15	39,338	9	691,826
R3	42	1,484	600	9,127	15	43,885	8	736,075
R4	38	1,421	584	9,199	15	40,831	8	858,532
R5	37	1,401	585	9,184	14	40,822	8	858,532
令和5年宮城県	364	17,617	2,548	82,079	129	196,301	124	6,086,846
対県比(%)	10.2%	8.0%	23.0%	11.2%	10.9%	20.8%	6.5%	14.1%

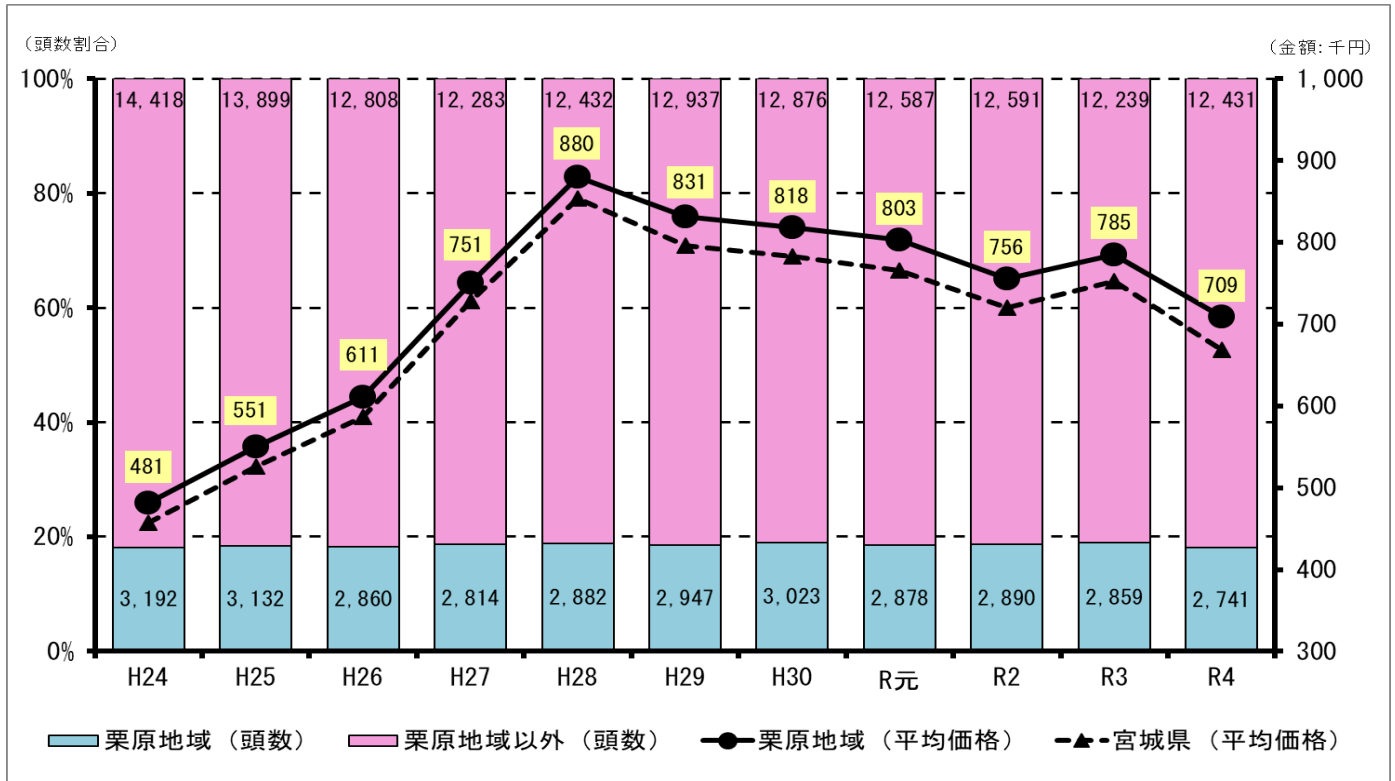
資料：飼養衛生管理基準の定期報告（令和5年2月1日）

(2) 肉用牛繁殖農家戸数及び飼養頭数の推移



家畜改良関係飼養頭羽数調査(令和5年2月1日現在)

(3) 栗原及び栗原以外の子牛市場上場頭数・1頭あたり平均価格



(4) 地域別飼養頭羽数

地域名	乳用牛		肉用牛		豚		種鶏		採卵鶏		肉用鶏	
	頭数	構成比	頭数	構成比	頭数	構成比	頭数	構成比	頭数	構成比	頭数	構成比
仙南	6,040	34.3%	16,928	20.6%	52,469	26.7%	38,850	34.8%	574,973	14.9%	289,905	13.8%
仙台	1,219	6.9%	4,259	5.2%	2,546	1.3%	13	0.0%	28,127	0.7%	447,515	21.3%
大崎	5,654	32.1%	15,732	19.2%	42,382	21.6%	29	0.0%	2,516,281	65.0%	542,800	25.8%
栗原	1,401	8.0%	9,184	11.2%	40,822	20.8%	42,700	38.3%	749,832	19.4%	66,000	3.1%
石巻	568	3.2%	4,913	6.0%	5,451	2.8%	30,000	26.9%	500	0.0%	594,200	28.2%
登米	2,029	11.5%	29,744	36.2%	52,551	26.8%	0	0.0%	1,783	0.0%	0	0.0%
気仙沼	706	4.0%	1,319	1.6%	80	0.0%	0	0.0%	368	0.0%	165,234	7.8%
宮城県	17,617	100.0%	82,079	100.0%	196,301	100.0%	111,592	100.0%	3,871,864	100.0%	2,105,654	100.0%

資料：家畜改良関係飼養頭羽数調査（令和5年2月1日）

6 農業農村整備

- 栗原管内の水田の整備状況は、令和4年度末において水田面積16,100haのうち9,781haが整備済みであり、水田整備率は県平均72%に対して61%となっています。
- 農地整備事業実施地区の令和4年度における農地集積率は管内別トップの72.7%で県平均を2.2ポイント上回っています。
- 農家や地域住民の共同作業による農村環境保全活動は、農振農用地面積17,260haのうち9,316haで取り組まれており、カバー率は県平均66%に対して54%となっています。

(1) 管内別水田整備状況

(単位：ha、%)

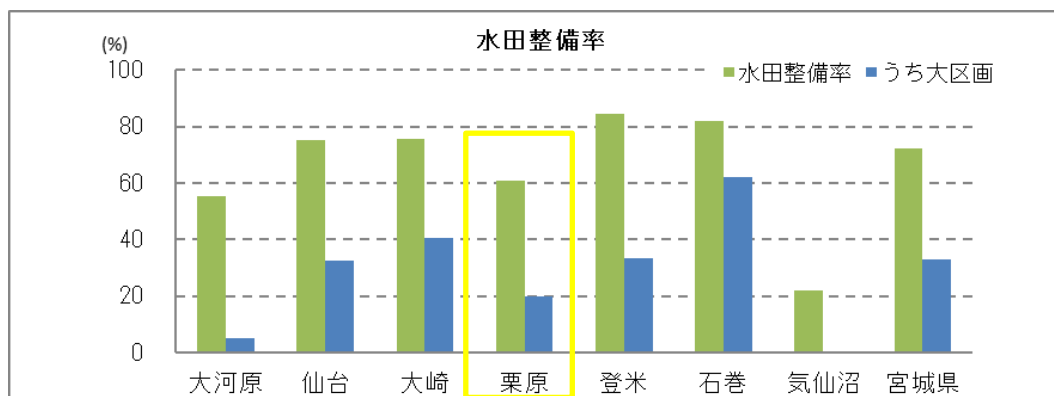
管内名	水田面積	水田整備状況			
		整備済み面積 (20a区画以上)	整備率	うち大区画(50a区画以上)	
				整備済み面積	整備率
大河原	11,890	6,604	56	618	5
仙台	20,849	15,653	75	6,803	33
大崎	31,940	24,086	75	13,006	41
栗原	16,100	9,781	61	3,224	20
登米	16,400	13,862	85	5,506	34
石巻	11,405	9,351	82	7,097	62
気仙沼	1,693	372	22	4	0
宮城県	110,277	79,708	72	36,257	33

資料：宮城県農政部農村振興課（令和4年度実績）

注：東日本大震災津波被災地域の農地転用面積等が一部未整理であり、整備済み面積は参考値扱いである。

注：水田面積は平成22年の数値（震災前）である。

注：整数値表示としているため、必ずしも計は一致しない。



(2) 管内別農地整備実施地区農地集積状況

(単位：地区、ha、%)

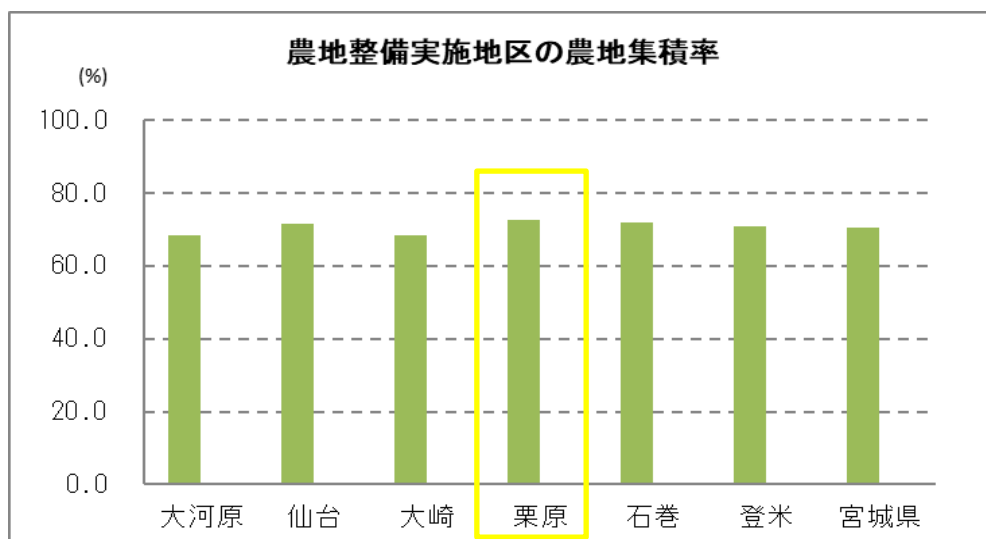
管内名	地区数	農地流動化計画 面積	農地集積状況	
			集積面積	集積率
大河原	16	965.8	659.2	68.3
仙台	23	7,034.5	5,027.8	71.5
大崎	53	11,729.1	8,032.5	68.5
栗原	32	3,728.7	2,711.0	72.7
石巻	30	5,508.2	3,953.2	71.8
登米	17	2,605.4	1,848.0	70.9
宮城県	171	31,571.7	22,231.7	70.5

資料：宮城県農政部農村整備課（令和4年度）

注：津波被災地区は集計対象外（地区数のみ計上）。

注：地域の中心となる農業経営体に農地の利用を集約すること。農地の売買や借地、農作業の受委託等によって経営面積を拡大し、経営の安定を図ることがねらい。

注：気仙沼管内は農業経営高度化支援事業を実施していないため対象外。



(3) 管内別農村環境保全活動取組状況

(単位：組織、ha、%)

管内名	農振農用地面積	農村環境保全活動の取組み状況						カバー率合計
		多面的機能支払交付金事業			中山間地域等直接支払交付金事業			
		組織数	認定農用地面積	カバー率	協定数	交付面積	カバー率	
大河原	15,019	143	6,460	43	47	963	6	49
仙台	19,761	184	15,144	77	13	225	1	78
大崎	32,178	252	22,305	69	21	146	0	70
栗原	17,260	136	8,797	51	68	519	3	54
登米	15,904	148	12,060	76	1	12	0	76
石巻	12,376	47	9,701	78	0	0	0	78
気仙沼	3,964	77	670	17	66	369	9	26
宮城県	116,462	982	75,137	65	216	2,234	2	66

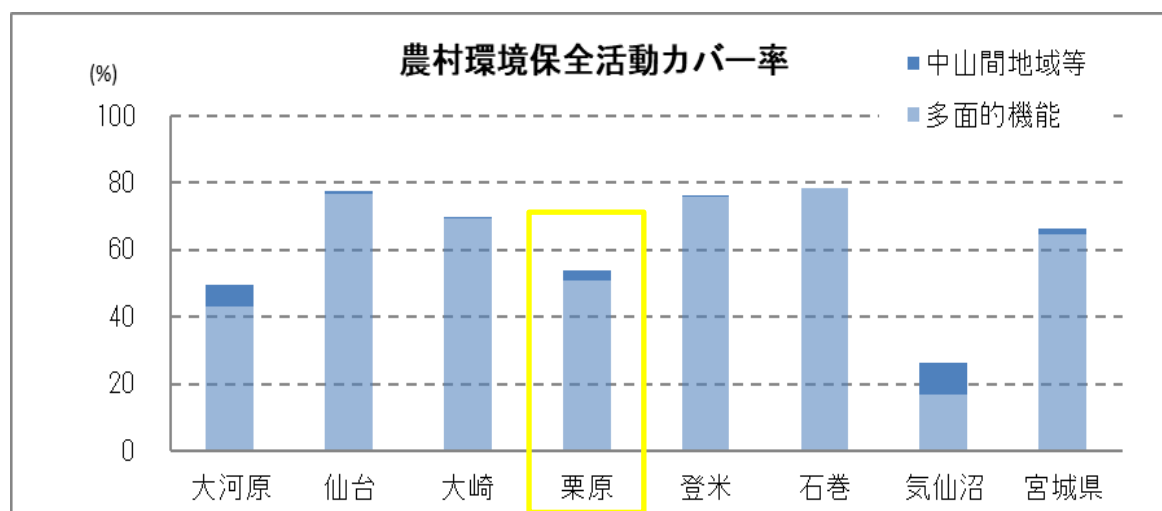
資料：宮城県農政部農山漁村なりわい課（令和4年度）

注：農用地面積は、東北農政局農村計画部農村振興課発行（平成25年3月31日）の農業振興地域整備計画総覧の農用地区域の現況地目別面積の農用地面積

注：多面的機能支払交付金事業とは、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理と農村環境の保全向上の取組みに対する支援事業である。

注：中山間地域等直接支払交付金事業とは、農業生産条件が不利な中山間地域等における農業生産の維持を図りながら、多面的機能を確保する取組みに対する支援事業である。

注：整数値表示としているため、必ずしも計は一致しない。



7 林業

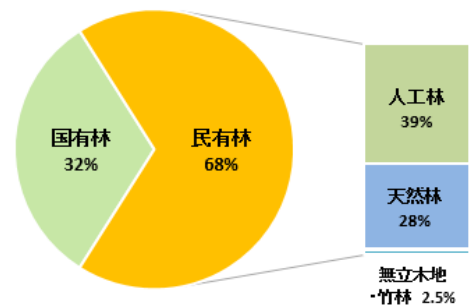
- 栗原地域は県内有数の森林地域です。森林面積は44,185ha（森林率 54.8%）で、うち民有林は29,968haとなっており、その56.8%を占める人工林の多くは収穫可能な8 齢級以上（36 年生以上）で、利用可能な資源が充実しています。
- 間伐などの森林整備は、毎年県平均を上回る実績となっており、施業の集約化の効果が現れています。
- 森林病虫害等被害は、松くい虫は減少傾向にあるものの、令和元年度からナラ枯れ被害が発生しており、本数、材積とも年々増加傾向になっています。
- 特用林産物は、「生しいたけ」及び「なめこ」が県内有数の生産地となっています。
- 有害鳥獣許可捕獲等は、捕獲頭数が年々増加傾向にあり、特に、ツキノワグマは出没件数・捕獲件数とも令和5年度において急激に増加しました。
- 山地災害危険地区は、災害発生の危険度が高いA地区を中心に治山対策を進めており、その着手率は地域全体で74%となっています。

(1) 森林面積

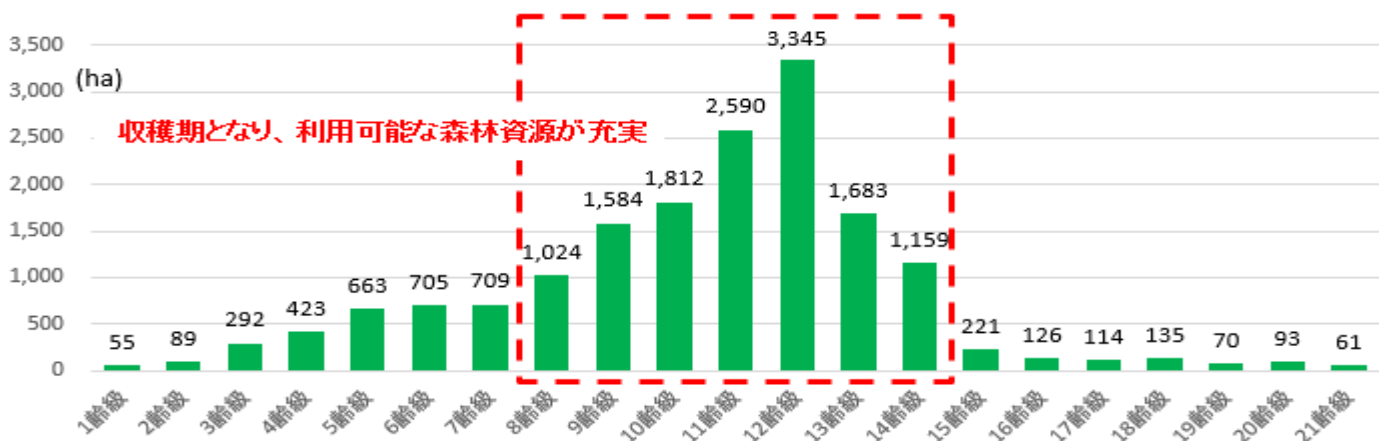
順位	森林面積(ha)		民有林面積(ha)		民有人工林面積(ha)		民有人工林材積(千m3)	
	市町村	面積	市町村	面積	市町村	面積	市町村	材積
1	仙台市	45,001	栗原市	29,968	栗原市	17,028	大崎市	4,899
2	栗原市	44,185	仙台市	25,365	大崎市	13,873	栗原市	4,663
3	大崎市	42,741	大崎市	23,858	石巻市	13,734	登米市	4,639
4	加美町	33,588	石巻市	22,712	登米市	13,307	気仙沼市	4,307
5	石巻市	30,824	気仙沼市	19,329	気仙沼市	12,403	石巻市	4,233

資料：令和4年度版 みやぎの森林・林業のすがた（令和3年3月31日現在）

所有形態別・人天別森林割合

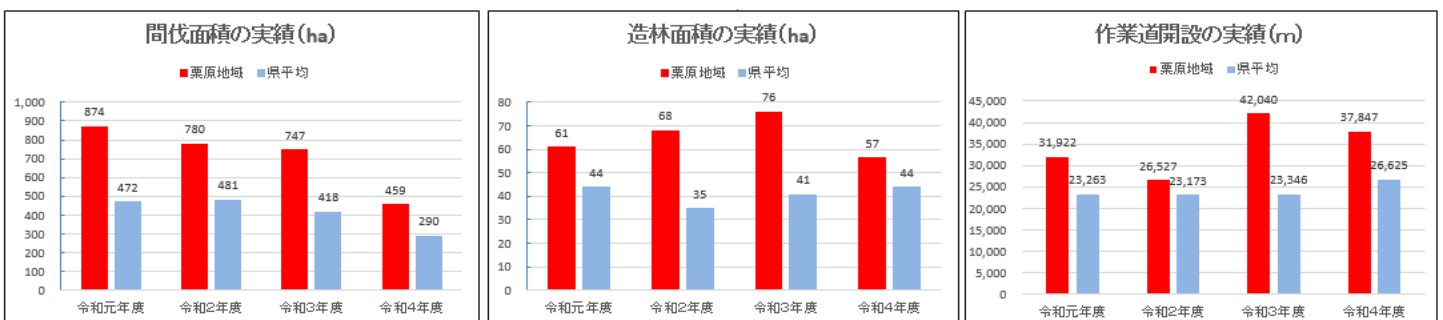


(2) 人工林の齢級別構成



資料：人工林資源構成(令和4年3月31日現在)

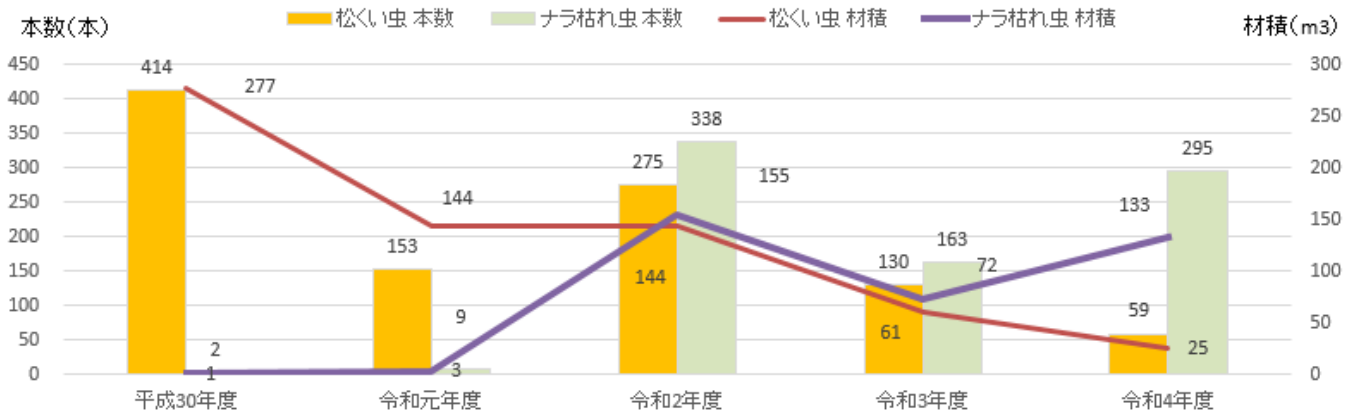
(3) 間伐・造林・作業道開設



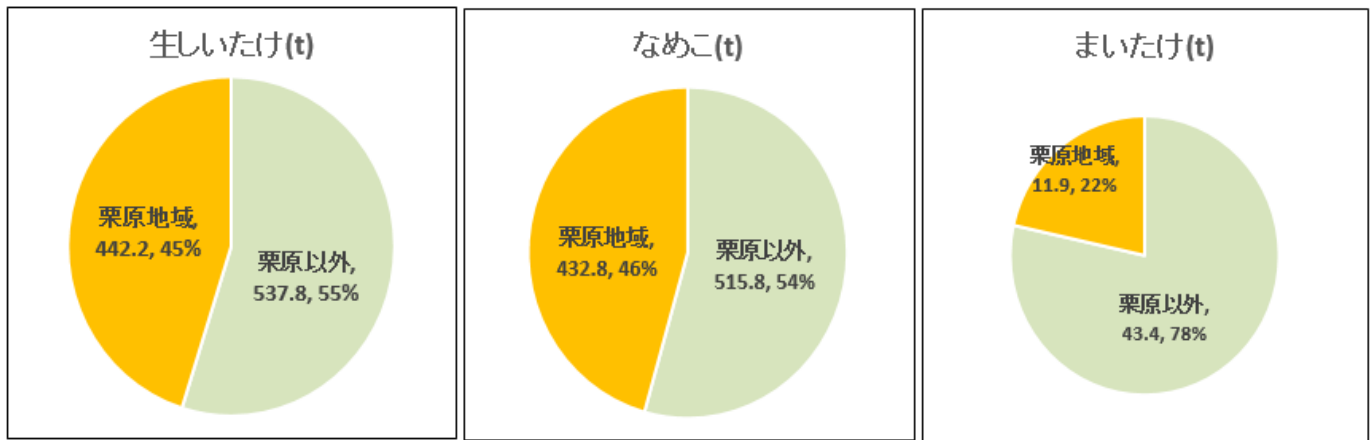
注：「県平均」は、7事務所の平均実績値

資料：森林整備の実績

(4) 森林病虫害等被害（松くい虫及びナラ枯れ）

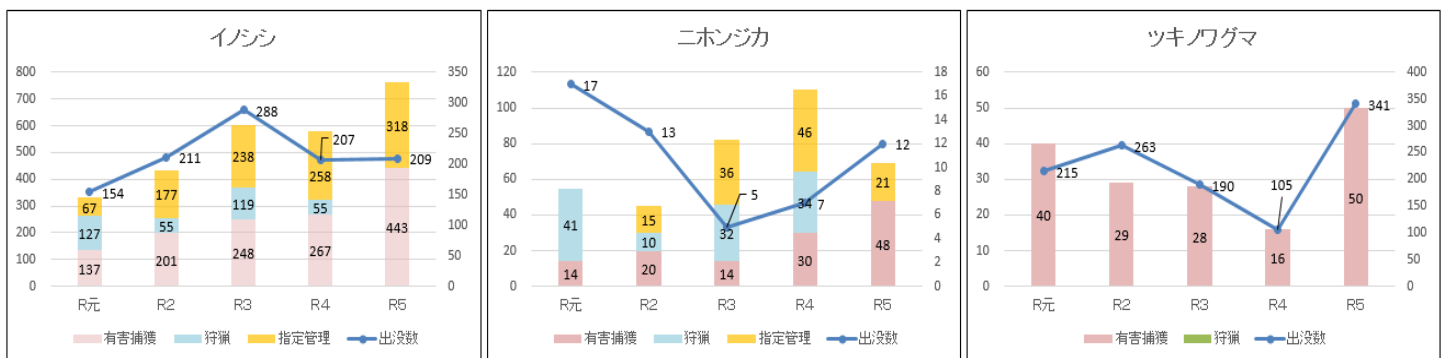


(5) 特用林産物の生産量



資料：林業振興課調べ（令和4年次）

(6) 有害鳥獣捕獲許可等



注：有害捕獲は許可を得た捕獲であり、狩猟は狩猟期間内、指定管理は県の事業（ニホンジカのR元は対象外のため実績なし）による捕獲。

注：ツキノグマの捕獲頭数には、保護のため放獣したものを含む。

注：令和5年度の数は12月末現在の数であり、狩猟による捕獲数は含まれていない。

(7) 山地災害危険地区

区分	区域	地区数			計	左のうち治山対策着手	
		危険度A	危険度B	危険度C		件数	着手率
山腹崩壊危険地区	県計	260	323	252	835	359	43.0%
	栗原管内	41	36	36	113	80	70.8%
地すべり危険地区	県計	38	16	5	59	34	57.6%
	栗原管内	7	3	1	11	9	81.8%
崩壊土砂流出危険地区	県計	428	832	107	1,367	787	57.6%
	栗原管内	36	110	15	161	122	75.8%
計	県計	726	1,171	364	2,261	1,180	52.2%
	栗原管内	84	149	52	285	211	74.0%

資料：森林整備課調べ（令和5年3月31日現在）

8 商工業

- 商業については、事業主の高齢化や後継者不足による廃業などが影響して、事業所数及び従業員数は減少傾向にあり、商品販売額を含め、県内7広域圏の中では最も低い水準にあります。地域の商工業者の経営支援などに重要な役割を果たす商工会も、会員数が年々減少しています。
- 工業については、事業主の高齢化などの影響で、商業と同様、事業所数は徐々に減少している一方で、トヨタ自動車東日本株式会社の宮城工場と岩手工場の中間に位置するという地の利を活かした自動車関連企業の集積等により、製造品出荷額等は、おおむね横ばい傾向にあります。なお、業種別では食料品が23.4%と大きな割合を占めています。

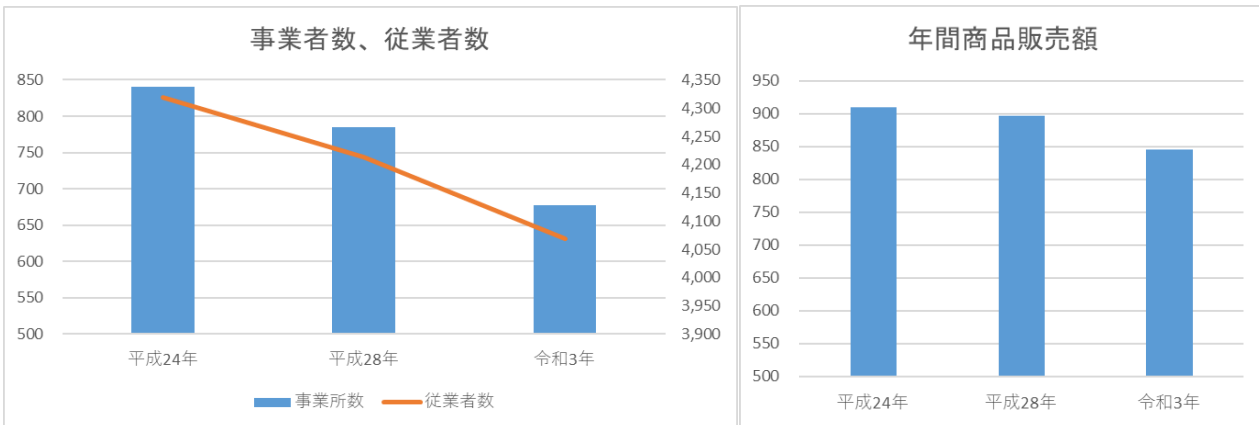
■ 商業

(1) 事業所数、従業者数及び年間商品販売額の推移

(単位:か所、人、億円)

	事業所数	従業者数	年間商品販売額
平成24年	840	4,319	910
平成28年	785	4,214	897
令和3年	677	4,068	845

資料: 経済センサス活動調査

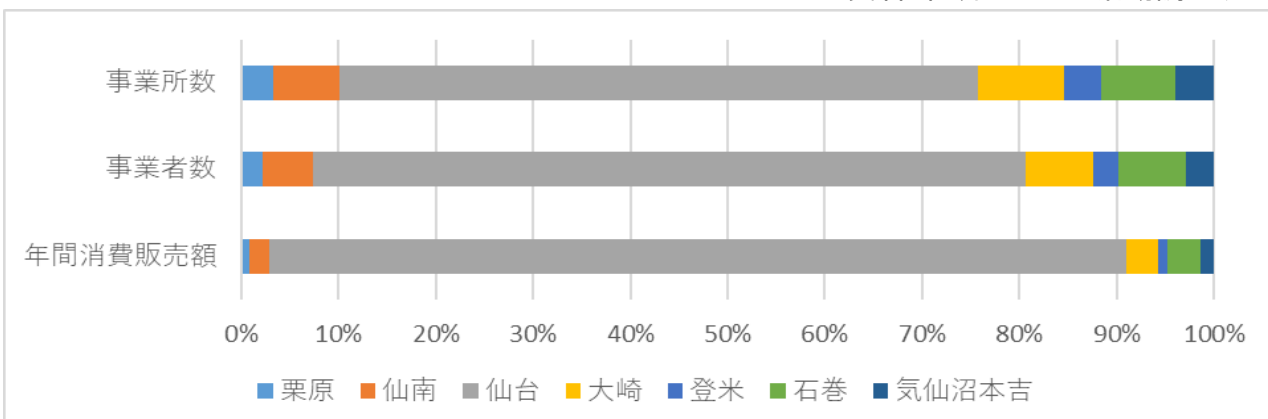


(2) 広域圏別事業所数、従業者数及び年間商品販売額

(単位:箇所、人、億円)

	栗原	仙南	仙台	大崎	登米	石巻	気仙沼本吉
事業所数	677 3.2%	1,457 6.9%	13,894 65.7%	1,868 8.8%	799 3.8%	1,628 7.7%	836 4.0%
従業者数	4,068 2.1%	10,003 5.3%	139,214 73.3%	13,214 7.0%	4,783 2.5%	13,105 6.9%	5,573 2.9%
年間商品販売額	845 0.8%	2,283 2.1%	96,786 88.2%	3,547 3.2%	1,116 1.0%	3,675 3.3%	1,537 1.4%

資料: 経済センサス活動調査 (R3)



(3) 各商工会の会員数及び組織率の推移

管内各商工会の会員数及び組織率

(単位：人、者)

	栗原南部商工会			若柳金成商工会			栗駒鶯沢商工会			一迫花山商工会			合 計		
	会員数	商工業者数	組織率	会員数	商工業者数	組織率	会員数	商工業者数	組織率	会員数	商工業者数	組織率	会員数	商工業者数	組織率
平成30年度	721	1,319	54.7%	530	736	72.0%	391	510	76.7%	253	312	81.1%	1,895	2,877	65.9%
令和元年度	704	1,319	53.4%	523	736	71.1%	376	510	73.7%	249	312	79.8%	1,852	2,877	64.4%
令和2年度	691	1,241	55.7%	502	698	71.9%	367	480	76.5%	247	293	84.3%	1,807	2,712	66.6%
令和3年度	705	1,241	56.8%	510	698	73.1%	357	480	74.4%	250	293	85.3%	1,822	2,712	67.2%
令和4年度	703	1,241	56.6%	512	698	73.4%	355	480	74.0%	248	293	84.6%	1,818	2,712	67.0%

資料：商工会の現況（宮城県商工会連合会）各商工会総会資料（令和4年度）

(参考) 栗原地域内の商圈

地域内には、旧築館町を中心に、旧7町1村（築館、一迫、鶯沢、栗駒、志波姫、花山、金成、高清水）で形成されている旧築館商圈があります。

旧築館商圈

(単位：%、人)

範囲	平均吸引率	旧町村別				商圈人口	吸引人口
		旧町村	吸引率	商圈人口	吸引人口		
1次商圈	39.0	旧築館町	39.0	13,180	5,140	13,180	5,140
2次商圈	27.3	旧一迫町	26.7	6,736	1,799	26,110	5,594
		旧鶯沢町	26.3	2,079	547		
		旧栗駒町	20.5	9,859	2,021		
		旧志波姫町	16.7	6,536	1,092		
3次商圈	12.0	旧花山村	15.0	900	135	9,768	908
		旧金成町	11.4	6,284	716		
		旧高清水町	5.5	3,484	192		
商圈計	23.7	7町1村				49,058	11,642
前回調査(平成30年)	20.8	6町1村				49,514	10,307

資料：宮城県の商圈（令和3年10月中旬時点）

【用語】

商圈：一般的には、当該市区町村の店舗施設を利用する顧客が、どの地区から来店しているかを示す地理的範囲を指す

本表上はさらに、買回品（衣料品など）を居住市区町村で購入する者の割合が30%以上で、かつ吸引率が15%以上の市区町村がある場合の、当該地域のことを言う

吸引率：回答者がどの市区町村を買回品の買物先としているかを居住市区町村ごとに算出し、商圈中心市町村から見てどの程度他からの買物客の流入があるかを示した割合

1次商圈：商圈中心市町村に対する購買先支持率（その市区町村内が買物先として選択される割合）が30%以上の市区町村の範囲

2次商圈：商圈中心市町村に対する購買先支持率が15%以上30%未満の市区町村の範囲

3次商圈：商圈中心市町村に対する購買先支持率が5%以上15%未満の市区町村の範囲

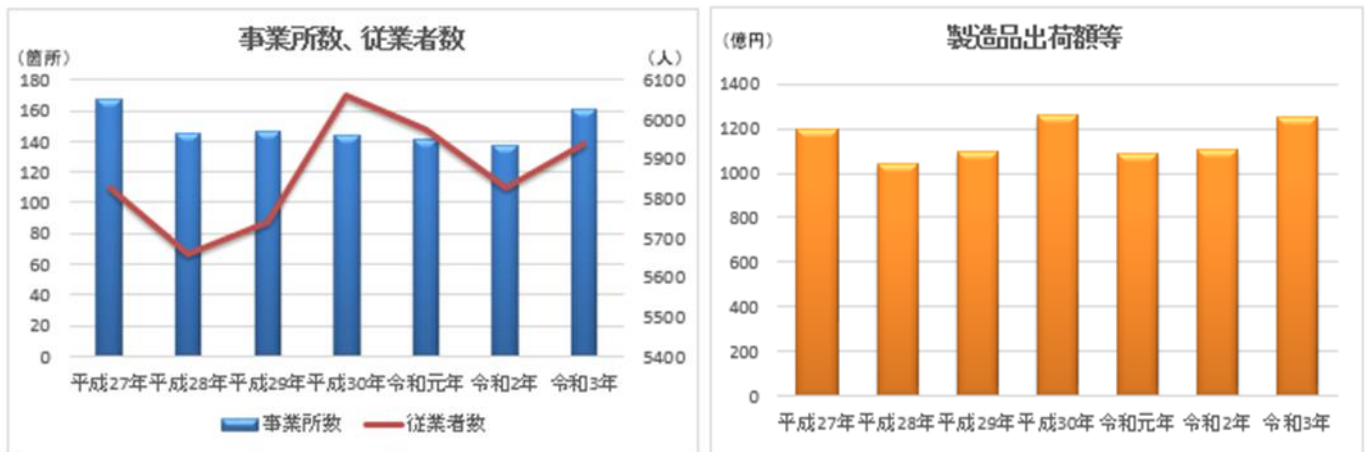
■ 工業

(1) 事業所数、従業者数及び製造品出荷額等の推移

(単位：箇所、人、億円)

	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成27年	167	5,826	1,196
平成28年	145	5,658	1,042
平成29年	146	5,738	1,092
平成30年	144	6,062	1,256
令和元年	141	5,974	1,088
令和2年	137	5,826	1,101
令和3年	161	5,940	1,254

資料：宮城県の工業、経済構造実態調査

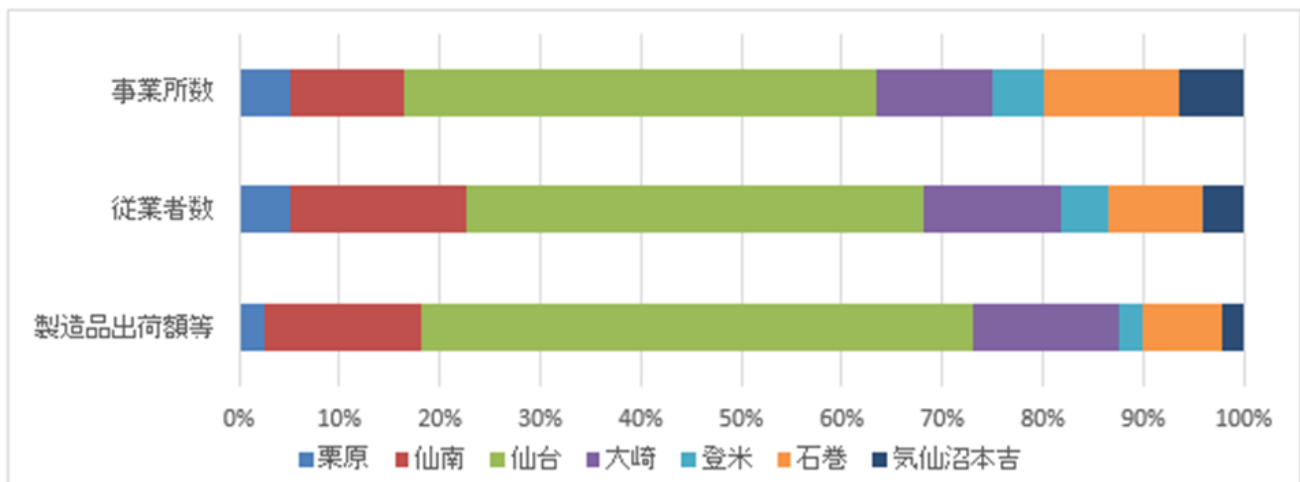


(2) 広域圏別事業所数、従業員数及び製造品出荷額等

(単位: 箇所、人、億円)

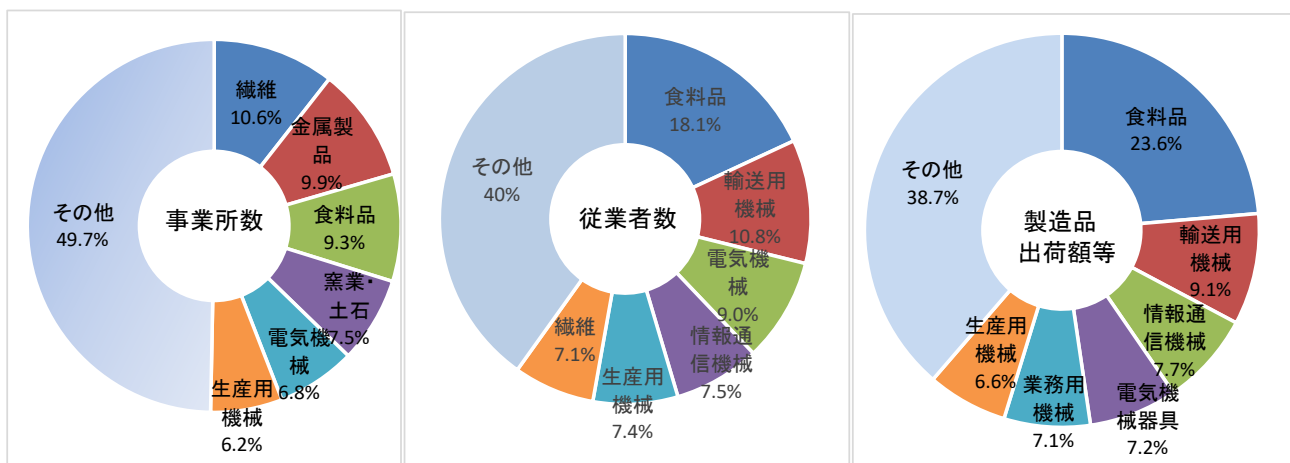
	栗原	仙南	仙台	大崎	登米	石巻	気仙沼本吉
事業所数	161 5.2%	348 11.2%	1,466 47.1%	361 11.6%	161 5.2%	418 13.4%	200 6.4%
従業員数	5,940 5.1%	20,251 17.4%	53,108 45.7%	15,650 13.5%	5,583 4.8%	10,957 9.4%	4,734 4.1%
製造品 出荷額等	1,254 2.5%	7,866 15.7%	27,388 54.7%	7,288 14.6%	1,223 2.4%	3,895 7.8%	1,120 2.2%

資料: 令和4年経済構造実態調査



(3) 栗原地域の事業所数、従業員数及び製造品出荷額等の業種別構成比

資料: 令和4年度経済構造実態調査



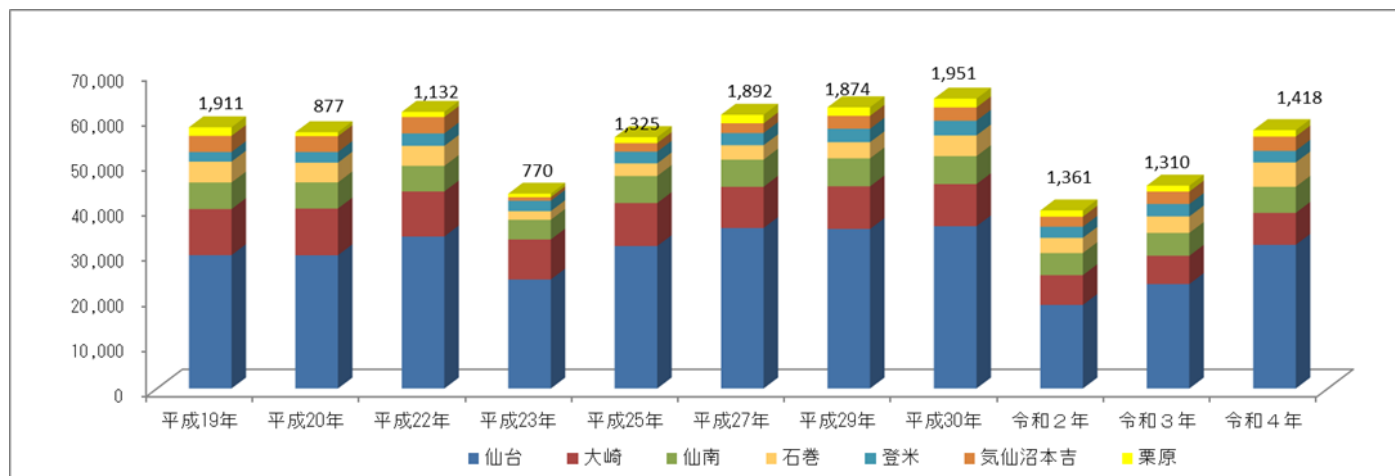
9 観光

- 栗原地域への観光客入込数は、平成20年の岩手・宮城内陸地震、平成23年の東日本大震災で一旦大幅に落ち込み、その後、令和元年には約190万人と岩手・宮城内陸地震前の水準まで回復しました。また、観光宿泊者数についても、平成24年以降毎年10万人を上回り推移していましたが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響等により、観光客入込数、宿泊客数ともに大きく落ち込みました。令和4年は観光客入込数、観光宿泊者数とも増加傾向にあるものの、感染拡大前の令和元年水準までには回復していません。
- 県内7広域圏の中では、観光客入込数は最も少なくなっていますが、豊かな自然などの観光資源が豊富にあり、イワガガミ平・栗駒山及びその周辺施設には例年多くの観光客が訪れています。
- 観光客入込数に対する宿泊客の割合が低く、また、宿泊客は県外より県内が多くなっており、栗原地域の魅力を発信し、できるだけ長く滞在していただくための取組が必要となっています。

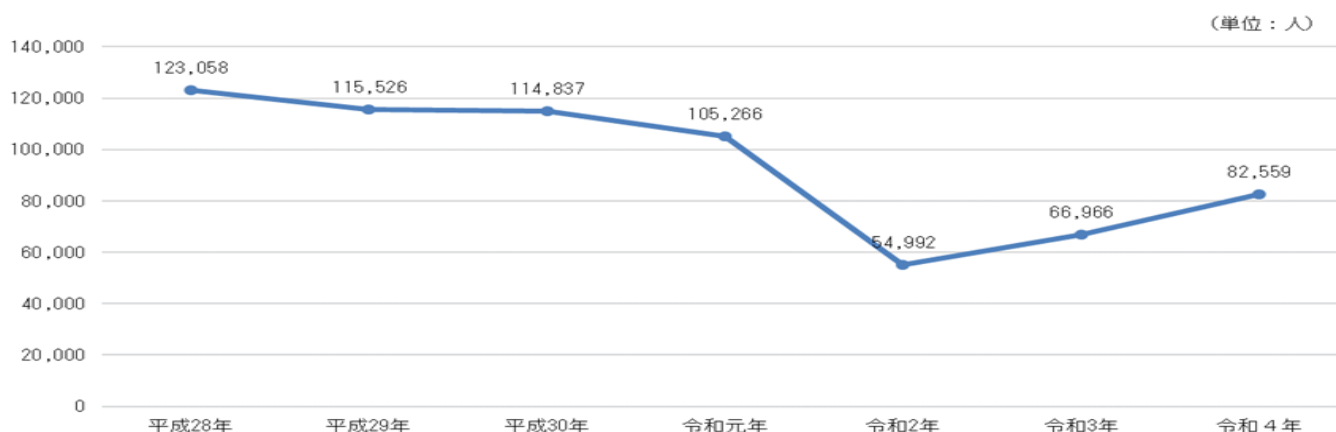
(1) 圏域別観光客入込数の推移

圏域名	平成19年	平成20年	平成22年	平成23年	平成25年	平成27年	平成29年	平成30年	令和2年	令和3年	令和4年
仙台	29,545	29,533	33,680	24,157	31,566	35,572	35,348	35,946	18,534	23,147	31,822
大崎	10,213	10,349	9,974	8,854	9,519	9,132	9,450	9,349	6,590	6,267	7,092
仙南	5,891	5,788	5,672	4,381	6,005	6,019	6,196	6,191	4,899	5,070	5,791
石巻	4,615	4,362	4,432	1,915	2,799	3,177	3,577	4,599	3,370	3,643	5,379
登米	2,125	2,367	2,772	2,288	2,577	2,710	2,982	3,243	2,453	2,754	2,583
気仙沼本吉	3,576	3,514	3,624	792	1,901	2,154	2,869	2,945	2,241	2,755	3,153
栗原	1,911	877	1,132	770	1,325	1,892	1,874	1,951	1,361	1,310	1,418
宮城県	57,877	56,789	60,154	43,158	55,690	58,764	62,296	64,224	39,448	44,946	57,238

資料：宮城県観光統計概要



(2) 観光宿泊者数の推移



(2) 主要観光施設の観光客入込数

(単位：人)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
道の駅・路田里はなやま	145,678	148,344	135,433	154,739	124,917	129,071
山の駅くりこま				107,782	109,409	112,723
栗駒山・いわかがみ平	151,410	163,450	143,350	129,280	93,720	111,260
金成温泉金成延年閣	111,518	107,880	104,965	74,777	76,158	87,641
細倉マインパーク	56,230	71,760	63,163	31,092	30,187	39,131
あぐりっこ金成	40,643	42,219	38,103	35,615	30,731	25,916
伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター	37,726	33,247	33,493	25,222	30,544	28,488
国立花山少年自然の家	64,380	64,108	62,185	12,288	16,760	23,540
花山温泉温湯山荘	26,575	26,000	25,780	19,279	23,187	18,177
ハイルザーム栗駒	33,931	22,478	31,456	17,120	16,311	14,619
くりでんミュージアム				5,935	9,605	13,439
栗駒山麓ジオパークビジターセンター				9,808	10,925	13,392
山王史跡公園あやめ園	7,532	8,641	7,727	1,765	2,430	5,430
愛藍人・文字	2,438	3,062	3,144	3,047	2,336	3,028

資料：宮城県観光統計概要

(4) 観光客入込数に占める宿泊者数の割合

(単位：人)

	観光客入込数(A)	宿泊者数(B)	割合(B/A)
栗原市	1,417,568	82,559	5.8%
宮城県	57,237,832	7,781,214	13.6%

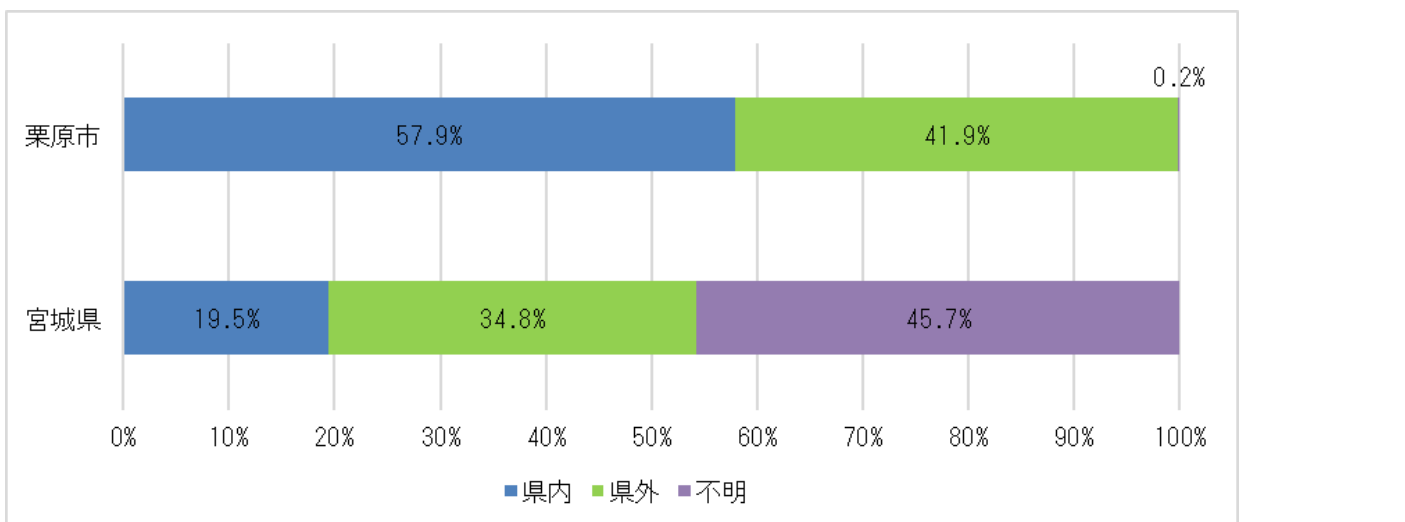
資料：令和4年宮城県観光統計概要

(5) 居住地別宿泊観光客数

(単位：人)

	県内	県外	居住地別						不明	合計
			北海道	東北	関東	中部	近畿	その他		
栗原市	47,842 57.9%	34,572 41.9%	1,139 1.4%	10,747 13.0%	16,760 20.3%	3,087 3.7%	1,701 2.1%	1,138 1.4%	145 0.2%	82,559 100.0%
宮城県	1,515,711 19.5%	2,705,935 34.8%	99,601 1.3%	739,756 9.5%	1,260,231 16.2%	226,284 2.9%	212,601 2.7%	167,462 2.2%	3,559,568 45.7%	7,781,214 100.0%

資料：令和4年宮城県観光統計概要





栗っこズッキーニ キャラクター「クッキーニョ」



食料王国みやぎ地域食材発掘・販路拡大事業での販売会(R5)



全国苔フェスティバル in 2023(R5)

— 栗原地域の概要 —

令和6年3月発行

編集・発行 宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
地方振興部商工・振興班

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1

電話(0228)22-2195